

# 経営発達支援計画事業実施報告書

1. 評価委員会開催日時 令和6年4月26日(金) 13時27分～14時23分
2. 評価委員会開催場所 久万高原町産業文化会館 研修室
3. 評価委員 8人(委員長1人、副委員長1人、委員6人)
4. 承認 本会理事会承認 令和6年5月14日(火)
5. 実施結果・評価

## (1) 評価の基準

- A 目標を十分達成している(100%以上)
- B 目標を概ね達成している(80～99%)
- C 目標を半分程度しか達成できていない、どちらかというとは達成できていない(30～79%)
- D 目標を全く達成できていない(30%未満)

## (2) 評価

分類	事業内容	実施項目	年度 目標	実施 結果	実施項 目評価	事業項 目評価
経営 発達 支援 事業 の内容	1. 地域の 経済動向調 査に関する こと 【指針③】	商工業者景気動向調査	2	1	C	B 平均 83.3%
		HPによる広報	2	1	C	
		チラシによる広報	2	1	C	
		金融機関と連携した景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
		チラシによる広報	1	1	A	
		中小企業白書等の分析による景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
		チラシによる広報	1	1	A	
	2. 経営状 況の分析に 関すること 【指針①】	経営分析事業者数	12	18	A	A
経営 発達 支援 事業 の内容	3. 事業計 画策定支援 に関するこ と 【指針②】	事業計画策定件数	4	5	A	D 平均 25.0%
		創業希望者事業策定	2	0	D	
		第二創業計画策定	2	0	D	
		事業承継計画策定	2	0	D	
経営 発達 支援 事業 の内容	4. 事業計 画策定後の 実施支援に 関すること 【指針②】	フォローアップ対象事業者数	10	11	A	C 平均 40.0%
		既存事業者に対する支援(1事業者3回、4ヶ月毎)	12	88	A	
		創業者に対する支援(1事業7回)	14	0	D	
		第二創業者に対する支援(1事業7回)	14	0	D	
		事業承継先に対する支援(1事業者3回、4ヶ月毎)	6	0	D	
経営 発達 支援 事業 の内容	5. 需要動 向調査に関 すること 【指針③】	特産品の需要動向調査事業所数	4	0	D	D
		アンケート回収数	120	0	D	
		調査結果の情報提供事業者数	4	0	D	
		テストマーケティング調査事業所数	2	0	D	
		アンケート回収数	60	0	D	
		調査結果の情報提供事業者数	2	0	D	
経営 発達 支援 事業 の内容	6. 新たな 需要の開拓 に寄与する 事業に関す ること 【指針④】	セミナーの開催	1	0	D	D
		セミナー参加者数	5	0	D	
		すご味への登録	1	0	D	
		すごものへの登録	1	0	D	
		商談会への参加	2	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市展示会出展指導社数	4	0	D	

		松山圏域中小企業販路開拓市展示会・商談会への参加	2	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市商談件数	2	0	D	
		松山圏域中小企業販路開拓市成約件数	1	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
		SNS利用社数	5	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
地域 経済 の活 性化 に資 する 取組	7. 地域経 済の活性化 に資する取 組	農業振興「6次産業化、付加価値の向上」	—	0	D	D
		林業振興「雇用環境の整備」	—	0	D	
		商工業環境の整備「ICT環境整備」	—	0	D	
		「道の駅 天空の郷さんさん」を起点とした観光振興	—	0	D	
経営 発達 支援 事業 の円 滑な 実施 に向け た支 援力 向上 のため の取 組み	8. 他の支 援機関との 連携を通じ た支援ノウ ハウ等の情 報交換に関 すること	他の商工会	4~5	2	C	C 平均 57.5%
		株式会社日本政策金融公庫	1以上	18	A	
		他の公的支援機関等 ・中小企業基盤整備機構 ・えひめ産業振興財団 ・事業引継ぎ支援センター	随時	3	B	
		予土隣接商工会交流会	1	0	D	
9. 経営指 導員等の資 質向上等 に関する こと	9. 経営指 導員等の資 質向上等 に関する こと	OJTの実施	—	14	A	C 平均 75.0%
		OFF-JTの実施	1以上	14	A	
		支援ノウハウや支援状況の組織内での共有	—	0	D	
		WEB研修の積極的受講	—	2	A	
10. 事業の 評価及び見 直しをする ための仕組 みに関する こと	10. 事業の 評価及び見 直しをする ための仕組 みに関する こと	毎年度、本計画に記載する事業の実施状況及び成果についての評価・検証・計画の見直し	年1回	1	A	C 平均 75.0%
		結果の理事会承認、総代会報告	理事会・ 総代会	理事会・ 総代会	A	
		結果のHP公表	HP公表	HP公表	A	
		中小企業診断士との計画修正、委員会での年度更新	—	未実施	D	

## 【評価委員による評価・意見など】

過去に「すご味」等催しに出店し、その際補助金活用し、パッケージ変更作成することができ、好印象を持っている。また、委員のみにとどまらず、事業者間でも情報交換できる場があれば良いと思っている。

コロナ禍以降、種々補助金申請書類作成にあたり、商工会の作成支援があり感謝している。昨年から行政と商工会の意思疎通を目的とし毎月打合せ会を開催していただいている。今後も継続して情報交換し意思疎通を図っていきたいと思う。

この経営発達支援事業の働きかけをいかに事業者に広げていくかが課題である。事業者から積極的に相談が寄せられるためにどうするか、考えていく必要がある。引き続き事業取り組みを願う。

コロナ禍明けであり、地元事業者のフォローアップが重要な状況であろう。創業計画、事業承継、販路開拓等は進んでいないようである。「ふるさと納税」を推進し、地元製品の活用を進めるべきと思う。

創業支援実績がないことについて、地区内での創業者がないのか、商工会に相談する者がいないが、例えば、地域おこし協力隊員が新しい取り組みを考えると、商工会からも何らかの支援を得られれば良いと思う。

様々な情報を得るために、「立ち寄りやすい商工会づくり」を考える必要がある。

以前から、会員事業者から補助金情報の周知を望む意見がある。今後さらにこのような情報を事業者にも周知できるよう考えてもらいたい。